

**I. (日本繊維技術士センターの行事予定)**

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維 J T C C」で検索できます。

**< J T C C 開催講座のご案内 >**

(対面講座のコロナ対策: 募集人員の制限、体温が 37.5℃以上の方は受講不可、マスク着用、手の消毒を実施)

**◆ 新: 繊維ベーシック講座: 開催のご案内 (詳細は、添付資料をご覧ください)**

(オンライン方式で開催 (Microsoft Teams を使用します))

**1. 講義内容とスケジュール**

月日	時間	テーマ	講師
11/05 (土)	9:30~11:00	I. 天然繊維に関する基礎知識	松永 伸洋
	11:10~12:40	II. 化学繊維に関する基礎知識	松永 伸洋
	13:40~15:10	III. 高機能繊維に関する基礎知識	西中 久雄
	15:20~16:50	IV. 不織布に関する基礎知識	西中 久雄
11/12 (土)	9:30~11:00	V. 糸に関する基礎知識	澤田 晴稔
	11:10~12:40	VI. 織物に関する基礎知識	佐藤 忠義
	13:40~15:10	VII. 編物に関する基礎知識	松川 源栄
	15:20~16:50	VIII. 布地の性質に関する基礎知識	清嶋 展弘
11/19 (土)	9:30~11:00	IX. 染色加工に関する基礎知識	津田 真
	11:10~12:40	X. 機能性加工に関する基礎知識	津田 真
	13:40~15:10	XI. アパレルに関する基礎知識	吉仲 健一
	15:20~16:50	XII. スポーツに関する基礎知識	荻野 毅

2. 講義... オンラインで行います。

3. 受講料と定員... ￥29,000 50名

4. 申込み方法... JTCC ホームページ: <https://jtcc.or.jp/> から、または添付資料の申込み書に記入し JTCC 本部宛 FAX 或は、E-mail でお申し込み下さい。FAX: 06-6484-6575  
E-mail: [jtcc-ed-os@mbr.nifty.com](mailto:jtcc-ed-os@mbr.nifty.com) <申し込み期限: 2022年10月28日(金)>

**◆ JTCCの「知っておきたいアパレル製品の基礎知識」講座 (オンライン)**

**Part I、II のご案内**

アパレルビジネスを行う上で、必要な技術的基礎知識を習得して頂きます。内容が豊富なため 2 回に分けて講座を開催します。Part I と Part II を受講して頂いて完成します。

**Part I**

アパレルに用いられる材料や試験方法、材料に関するトラブルと解決方法について解説します。  
(開催日時は、2022年10月8日(土)、15日(土) 録画配信: 10月18日(火)、25日(火))

**Part II**

アパレル製品の企画、アパレル生産に関して設備や縫製技術、縫製工場の管理方法、アパレルに関する表示、縫製や表示に関するトラブルと解決方法について解説します。(開催日時は 2023年2月を予定しています。)

## Part I 講座の案内

開催日時: 2022年10月8日(録画は18日)、15日(録画は25日)、(何れも10時~17時)

受講料: 20,000円 定員: 100名

申込期間: 8月1日~9月30日

詳細内容は、JTCCホームページをご覧ください。

日程	内容	時刻	時間(分)
1日目 10月8日(土) 録画配信 10月18日(火)	挨拶	10時~	10
	I. アパレル業界の現状と課題	10時10分~	50
	II. アパレル用繊維の種類と特徴	11時~	60
	III. アパレル用生地(織物・編物)の種類と製造	13時~	120
	IV. アパレル用芯地、裏地の種類と特徴	15時~	60
2日目 10月15日(土) 録画配信 10月25日(火)	V. アパレル用副資材: レース、テープ、ボタン、ファスナー、織ネーム	16時~	60
	VI. 繊維の染色と加工(浸染・捺染・加工)	10時~	120
	VII. 繊維の試験方法(物性、堅牢度、安全性)	13時~	60
	VIII. 繊維の機能性と試験方法	14時~	60
	IX. 消費者トラブルと対応策	15時10分~17時	(110)
	X-1 堅ろう度不良(ドライクリーニング)	15時10分~	30
	X-2 ピリング	15時40分~	30
	X-3 ポリウレタンの脆化	16時10分~	30
X-4 生地強度不足(引っ張り、摩耗、破裂など)	16時30分~	30	

## ◆JTCC「公開講演会」

(詳細、参加申し込みはJTCCホームページをご覧ください。)

名称	内容(講師)	日時	会場
第90回 JTCC 主催	講演1. 「JUKIのIoT」(仮題) JUKI販売(株) 修理翔太氏	12月10日 (土)	オンライン 予定
	講演2. 透湿防水加工(仮題) JTCC 元東レコーテックス 上本雅則氏		
第91回 JTCC 主催	講演1. 「自己修復性超分子材料」 大阪大学 高島義徳教授	2023年 2月4日(土)	オンライン 予定
	講演2「センシング関係」 講師は交渉中		

公開講演会の参加費(税込み): 2000円 オンラインの場合「資料のみ」の参加は不可です。

## 東レ株式会社



## II. (業界ニュース)

### 1. 経済産業省(生活製品課)

- ・生活製品産業研究会 (2022年7月26日開催)  
第1回繊維産地ネットワーク協議会
- ・消費生活製品安全法 法令業務実施細則  
該当する製品は、登山ロープです。

### 2. 環境省

- ・新着情報なし

### 3. 日本化学繊維協会、日本綿業振興会、日本染色協会

#### ●日本化学繊維協会（詳細は化繊協会のホームページ参照してください）

- ・Aquafil、植物由来ナイロン6の実証生産

イタリアのナイロンメーカーAquafil S.p.Aは、米国バイオテクノロジー企業の Genomatica(Geno)と植物由来ナイロン6の最初の実証レベルの生産(demonstration scale production)を行った。

Aquafil は、アパレル、自動車部品、カーペットなど多くの用途でナイロン6 繊維を展開している。

Geno は、持続可能な素材の世界的な商業化を加速するため、さまざまなブランドとの取引を進めている。

ヨガウェア大手の lululemon と植物ベース素材でのコラボレーション、ドイツの化学品メーカーCovestro と持続可能な植物ベースのヘキサメチレンジアミン(HMD)の生産などが含まれる。

#### ●日本綿業振興会（詳細はホームページ参照）

- ・新・情報なし

#### ●日本染色協会（詳細はホームページ参照）

- ・新・情報なし

### 4. (一社)日本衣料管理協会、(一社)繊維評価技術協議会(繊維技協)

#### ●(一社)日本衣料管理協会

- ・9月14日に2022年度TES試験の可否通知をお送りいたしました。

日本衣料管理協会創立50周年記念事業「TES品質情報展」を下記日程で開催いたします。

- ・10月15日(土) 中部支部
- ・10月27日(木) 東日本支部
- ・11月5日(土) 北陸支部
- ・11月11日(金) 西日本支部

詳細は、日本衣料管理協会のホームページをご覧ください。

#### ●(一社)繊維評価技術協議会(繊維技協)

- ・新着情報なし

#### ●関西ファッション連合

- ・繊維の基礎知識講座 10月5日～8日 開催

◆<繊維学会誌> 2022年9月号



特集<頑張る若手研究者 2021年度奨励賞>

○マルチスケールの構造変化が物性に及ぼす影響 東京農工大学 小瀬亮太

1. はじめに 繊維に微細繊維を混ぜることによって、強度増す。  
微細繊維を「マイクロフィブリルセルロース」と「セルロースナノファイバー」で比較した。
2. セルロースナノファイバー添加が紙の物性と構造に及ぼす影響
3. セルロースナノファイバー添加紙における歩留まりと引張強さの関係

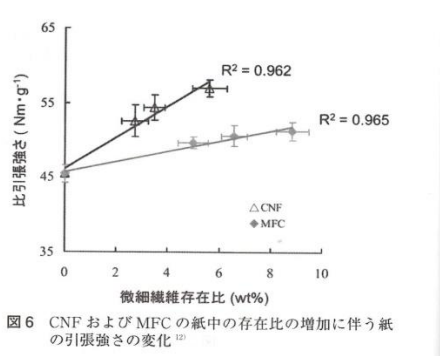


図6 CNFおよびMFCの紙中の存在比の増加に伴う紙の引張強さの変化<sup>19)</sup>

○繊維・高分子材料の微細周期加工および複合化に関する研究

岐阜大学 内藤圭史

1. はじめに: 繊維・高分子材料の微細周期加工および複合化について、①「スティック・スリップによる微細周期加工」と②「クリストバライト充填複合材料」についての解説  
スティック・スリップ: 簡易かつ安価に大面積化が可能な微細周期加工法としてスティック・スリップ現象(摩擦振動現象)  
クリストバライト充填複合材料: SiO<sub>2</sub>の結晶多形の1つである。
2. スティック・スリップ現象を活用した微細周期加工
3. クリストバライト複合材料を、パワー半導体用封止材としての応用を念頭に、昇・降温過程がクリストバライト球状粒子充填エポキシ樹脂の力学特性に及ぼす影響を調査した。

○イオン性直鎖状ポリシロキサン機能開拓

名古屋大学 原 光生

1. はじめに  
主鎖がシロキサン結合(-Si-O-Si-)の繰り返しで構成される高分子をポリシロキサンという。  
オイル、グリース、シャンプーなどの柔軟材料の素材として利用される。  
ポリシロキサンの特異な機能について説明されている。
2. 吸湿性と堅硬性
3. 自己集合
4. 両親媒性表面
5. 界面活性剤の湿度操作

<業界マイスターに学ぶ せんい産業資材の基礎知識—19>

○第4編 産業用途への応用

(一社)日本繊維技術士センター 西中久雄

(3)医療・衛生用途 ②衛生用繊維材料

4.3.2.1 総説

- (1)概要
- (2)不織布製品が主流に、安定生産・供給体制が課題に
- (3)納入先(医療施設、介護施設など)
- (4)使い捨て製品の破棄問題、環境問題
- (5)関連法規

#### 4.3.2.2 衛生用品の種類

- |            |              |              |
|------------|--------------|--------------|
| (1)紙おむつ    | (2)医療ガーゼ     | (3)包帯        |
| (4)清浄綿・脱脂綿 | (5)ナプキン、タンポン | (6)絆創膏、湿布薬   |
| (7)マスク     | (8)ワイパー      | (9)ウェットティッシュ |
| (10)綿棒     | (11)ベッド・シーツ  | (12)手術衣      |
| (13)患者衣    | (14)オイフ      | (15)帽子       |
| (16)靴カバー   | (17)滅菌バッグ材   | (18)手術用縫合糸   |

#### 4.3.2.3 一般社団法人 日本衛生材料工業連合会の活動

### ○第4編 産業用途への応用

(一社)日本繊維技術士センター 村山定光

#### (4)電子・電気・情報用途

##### 4.4.1.1 はじめに

電子機器プリント配線は、小型化、軽量化、薄型化、高密度化などの要求があり、片面配線基板、両面配線基板、多層配線基板へと進化している

##### 4.4.1.2 プリント配線とは

##### 4.4.1.3 プリント配線板開発の歴史

##### 4.4.1.4 プリント配線板の分類

##### 4.4.1.5 プリント配線板市場の推移

##### 4.4.1.6 今後の開発報告

### ◆<繊維製品消費科学会誌> 2022年8月号



#### 時事報告

○フェムテックムーブメント —時代の変わり目、文科が動くとき—

伊藤忠ファッションシステム 山田美絵

シリーズ「SDGsの17の目標に対する繊維各社の取り組み」

○東京ソワールの考える SDGs

(株)東京ソワール 櫻井美佳子

シリーズ「美術館・博物館に收藏される染織品」

○さまざまな染織技法

立命館大学 加茂瑞穂

シリーズ「地域の根差した繊維産業」

○縫製とミシンの自動化への歩み

ハムス(株) 宮地康次

シンポジウムより

○カニ殻由来の新素材「ナノキチン」の肌に対する効果と実用化に向けた取り組み

鳥取大学 伊福伸介

○二酸化塩素注入による連続式洗濯機内の被洗布に付着した微生物に対する殺菌効果

(有)クリーンケア 大久保善彦 島根大学 高橋哲也

### ◆<繊維機械学会誌> 「月刊せんい」 2022年8月号



○「繊維業界におけるサステナブル認証ラベルの役割」

(一社)日本サステナブル・ラベル協会 山口真奈美

○「化学物質を取り扱う業者が知っておくべき自然災害のリスクと対策について」

(株)住化分析センター 高橋洋子

○「高速精紡機における精紡時の張力安定システム」

村田機械(株) 岡 正毅



8月号

○導電性カーボンブラックの特徴と応用

機能性カーボンファイバー研究会 前野聖二

カーボンブラックの構造や導電性発現機構を解析して、カーボンブラックの持つ特性と導電用としての適切性を報告する。

○福島第一原発事故に向き合う

白川正広

○技術者倫理を考える

飯田敏幸

○我が国の放射線産業の概要と今後の展望

和田隆太郎

医療用、工業利用、農業利用に分けて説明されている。

○福島第一原発のトリチウム水の海洋放出について

大木久光

○次亜塩素酸を通して安全・安心な社会をつくりたい

(株)HSP 小野朋子

(月刊誌)

新市場創造講座 -新市場を目指した繊維生産・流通システム

この連載は、2022年8月号から2023年9月号までの連載予定です。

○講座スタートに当たって

(一社)日本繊維技術士センター 理事長 嶋田幸二郎

○繊維産業論・繊維産業の足跡

(一社)日本繊維技術士センター 永安直人

1. はじめに

2. 繊維の歴史

3. 産業革命十綿紡績業

4. ケミカルジャイアンツと繊維産業

5. 日本の近代化と生糸製糸業

○食品のメイラード反応を利用した繊維の着色技術

(地独法) 大阪産業技術研究所 大江 猛

1. はじめに

食品における色素は、糖質分子のカラメル色素とアミノ化合物と糖質の化学反応によるメラノイジン色素に区分される。

2. 食品のメイラード反応と繊維材料の着色

1. メイラード反応のメカニズム

2. 食品中でのメラノイジン色素の役割

3. キシロースによる繊維材料の着色

4. キシロースによる着色反応の条件検討

○炭素繊維コンポジットの最新技術動向 (下-1)

(一社)日本繊維技術士センター 井塚淑夫

8. CFRP の最近の用途展開

航空・宇宙用途

1. 次期航空機の開発

2. 航空機用途での新たな部品開発

3. 電動垂直離発着機などの開発

4. 宇宙用途での新たな開発

スポーツ・レジャー用途

○スポーツウェアに求められる機能性・快適性

(一社)日本繊維技術士センター 清嶋展弘

10. スポーツとダウンジャケット

1. ダウンジャケットの歴史

2. ダウンジャケットの構造と種類

3. ダウンジャケットなどの羽毛製品の特長

4. ダウンジャケット用素材

5. 羽毛の精製と傘高性の評価

- 6. ダウンジャケットの評価
  - 7. 羽毛製品の品質クレームと対策
  - 8. ダウンジャケットの新しい展開
- 時空繊維 雁皮紙に学ぶ

(一社)日本繊維技術士センター 八木健吉

◆<不織布情報> 2022年8月号

【用途特集】自動車

- 自動車メーカー枠にとられない新たな移動空間の価値づくり (株)本田技術研究所
- 自動車用フィルターにおける過去から現在・将来へ ダイニック(株)第三事業部
- 世界に歓迎される、人に愛される人づくり 整備のプロから開発まで輩出するHondaイムズの学び舎 学校法人ホンダ学園
- ミライフMFとミライフMFを使った吸音材について ENEOS テクノマテリアル(株)
- 次代に対応できるクルマへの内・外装材料の可能性と方向性 (株)オーツカ
- 環境配慮型の産業用天然素材で幅広い材料提供を 堀正工業(株)

◆<新聞、他>

織研新聞

○2022年1月～5月の衣料品の輸入 (数量:百万点、金額:億円、シェア:%、下段:前年同期比)

順位	国	ニット衣料		布帛衣料		合計			
		数量	金額	数量	金額	数量	シェア	金額	シェア
1	中国	657	3,368	361	3,079	1,018	58.6	6,447	53.5
		▲7.6	9.6	▲1.8	12.8				
2	ベトナム	164	950	71	903	235	13.5	1,853	15.4
		▲9.9	5.6	4.6	19.1				
3	バングラデシュ	69	413	41	371	110	6.3	784	6.5
		10.5	29.1	6.2	33.6				
4	カンボジア	59	284	34	360	93	5.5	544	4.5
		5.6	27.2	0.5	27.9				
5	インドネシア	26	168	20	223	46	2.6	191	1.6
		▲22.4	▲10.4	▲14.6	11.5				
6	イタリア	0.1	144	0.1	212	1	0.1	256	2.1
		0.9	13.9	1.2	14.9				
7	ミャンマー	39	164	37	375	76	4.4	539	4.5
		25.2	51.1	26.3	39.3				
	全世界	1,139	6,001	598	6,041	1,737	100	12,042	100
		▲4.9	10.9	▲0.2	16.8				

出所:日本貿易統計



「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

掲載をご希望の方は、[jtccnews@mbr.nifty.com](mailto:jtccnews@mbr.nifty.com) に投稿してください。(掲載料金は無料です)

賛助法人・団体会員様の声(技術的な問題, JTCCに対する声などをメールでお聞かせください)

連絡先: [jtccnews@mbr.nifty.com](mailto:jtccnews@mbr.nifty.com)

JTCCニュース用のメールアドレスは、[jtccnews@mbr.nifty.com](mailto:jtccnews@mbr.nifty.com) です。

編集: 一般社団法人 日本繊維技術士センター 企業接点強化部会 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本部事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail [jtcc@nifty.com](mailto:jtcc@nifty.com)

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9(滋賀ビル506号室)

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail [jtcc-kt@nifty.com](mailto:jtcc-kt@nifty.com)

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

(公財)中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043(代) FAX 052-204-1469